

平成28年度 事業報告書

平成28年4月1日から平成29年3月31日まで

特定非営利活動法人 手話教師センター

1 事業の成果

【育成】定例会を年に4回実施した。△日本手話ブラッシュアップ講座を5回実施した。5回のうち4回は定例会のある日の午前中に実施し、残る1回については午前・午後を通して実施した。△手話教授法講座(ナチュラルアプローチ講座)については関西学院大学の非常勤講師(日本手話)が中心に運営を行ない、ナチュラルアプローチ教授法養成講座 in 関学を実施することができた。

【研修】研修会および大会は予定通りした。自主勉強会は申請のあったものは1件のみであった。スペシャル自主勉強会は大会前に2回、大会後に手話コロキウムに名称を変え3回実施した。

【派遣】新規としては派外資系大手企業がある。また、個人レッスンも試行の段階であるが口コミで問い合わせが急増し、対応に苦慮した。

【開発】DVDプロジェクトが沈滞化し、今年度は実績を作ることができなかった。

【翻訳・通訳】日本手話に特化した翻訳・通訳技術向上支援事業(日本財団)として、翻訳講座(e-ラーニング講座含む)、講師養成講座、ろう通訳者養成講座(日本語クラス・ISクラス)、リーダー養成講座、通訳理論講座を行い、新規のものとして、通訳OJTプログラムを実施した。CIT(全米手話通訳養成指導者会議)へ8名の研修派遣を行なった。ろう通訳シンポジウムを行ない、カナダから世界的に著名なろう通訳者を招聘することができた。

【啓発】ホームページ、Facebook、ツイッター、LINE等で広報、啓発をおこなった。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
手話教師育成事業	定例会の開催	年4回	国立オリンピック記念青少年総合センター	15名	手話教師 手話教師をめざすろう者及びコーダ 手話学習者・手話通訳者 約400名	852
	日本手話ブラッシュアップ講座等における教師育成	年5回	国立オリンピック記念青少年総合センター・池上会館	10名	手話教師 手話教師をめざすろう者及びコーダ 手話学習者・手話通訳者 約80名	
	ナチュラルアプローチ手話教授法講座への教師派遣	年12回 ×1カ所	関西学院大学等(兵庫)	8名	手話教師をめざすろう者及びコーダ 10名	
手話教師研修事業	集中研修会(フォローアップ及びスキルアップのための勉強会)	年に2回 5月 12月	国立オリンピック記念青少年総合センター	20名	手話教師 約120名	1,582
	日本手話教育研究大会	年に1回 7月	国立オリンピック記念青少年総合センター	10名	手話教師 手話教師をめざすろう者及びコーダ 約200名	
	手話教師育成指導者研修会	年に1回 2月	有馬(兵庫)	1名	手話教師指導者 約20名	
	手話教師自主研修会	通年	東京	6名	手話教師 約180名	
	海外研修派遣	年に1回 6月	米国	1名	手話教師 2名	
手話教師派遣事業	手話教師の派遣	通年	事務所	2名	手話教師30名 学生・手話学習者/一般市民 約2,500名	2,242
手話教授法に関する教材開発事業	ナチュラルアプローチ法に適した手話指導書及び受講生用のテキストを作成し、出版する	通年	事務所	2名	実績なし	-

翻訳・通訳に関する事業	翻訳講座(e-ラーニング講座含む)の開講	通年	三田(田町) 代々木・池袋	3名	手話学習者・手話通訳者等 約70名	10,553
	通訳理論講座の開講	通年	代々木・東京等	3名	ろう者(指導者等)・ろう通訳者 手話通訳者等 7名	
	講師(翻訳・通訳)養成講座の開講	通年	代々木・東京等	3名	講師をめざすろう者 2名	
	ろう通訳者・フィーダー養成講座の開講	通年	代々木・東京等	3名	通訳をめざすろう者、フィーダーをめざす手話通訳者 11名	
	通訳OJTプログラム	通年	東京・大阪・栃木・ 横浜・米国等	2名	ろう通訳者、フィーダー等 約80名	
	ろう通訳シンポジウムの開催	年 1か所	東京	6名	ろう者 手話学習者・手話通訳者 約100名	
ろう者特有の文化に関する普及啓発事業	手話教師センターのホームページを設置、運用	通年	事務所	2名	手話教師 手話教師をめざすろう者及びコーダ 手話学習者・手話通訳者 約400名	32